

平成30年度 事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

特定非営利活動法人親子の未来を支える会

1 事業の成果

「胎児ホットライン」として事業再編するための準備のため、前年度までに立ち上げたオンラインピアサポートシステムの振り返り、英国における福祉制度の視察を行った。また、医療的ケア児サポートのためのガイドライン作成を目指した現地調査を行い、平成31年度の事業（赤い羽根福祉基金）につなげるためのネットワーク構築を行った。すべての人が安心して豊かな社会生活ができるような社会作りを目標に、教育現場や行政などとの連携をより強化する1年となった。

2 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の範囲 及び人数
(1) 胎児診断・障がいに関する情報提供・情報収集事業	障がい/胎児診断/胎児治療に関する講演・メディア出演などを合計10回ほど行った。	通年	新聞・Webメディア・国内外の医療機関・教育機関など	15名	一般市民、障がい者、障がい者家族、医療者、胎児医療に関わる医師、看護師等 1000人/月
(2) 障がいに関するカウンセリング事業	オンラインピアサポートサービス「ゆりかご」を、新聞等のメディアを通じて拡散した。オンラインピアサポートの枠を超え、対面による当事者との交流を行った。胎児ホットラインとして事業再編をする事業計画、資金集めのためのクラウドファンディングを3/14～5/15までの期間で実施。	通年	インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張	200名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等 10人/月
(3) 胎児医療・障がい者医療に関するサポート事業	医療的ケア児の支援、22q11.2欠失症候群患者家族の交流会開催などを行った。	通年	学校、インターネット上、電話相談、また適宜状況に応じて出張	30名	一般市民、妊婦、これから生まれる子供たち、胎児医療に関わる医師、看護師等 10人/月